公益社団法人　横浜市幼稚園協会

2025年度神奈川県私立幼稚園教育研究大会横浜地区大会

子どもが育つまちをつくる

～園が持つ役割と可能性～

俯瞰図番号：F3

北海道安平町は平成30年北海道胆振東部地震（最大震度7，安平町震度6強）の被災地です。全住家の94%が被害をうける大地震の中、そこにある私立学校法人はやきた子ども園は園を緊急避難所として開放し、応急保育の受入も行いました。地震の前から地域に根ざし、保育の理念を地域に埋め込むことで「子どもが育つまちをつくる」ことに取り組んできました。園は幼児を保育するだけの場所ではありません。人口減少と少子化が進む中、園が持つ役割と可能性について、安平町の物語を通して、幼児教育・地域との連携・切れ目のない支援・幼保小架け橋などの取り組みを紹介したいと思います。

講師　井内　聖　先生（北海道安平町教育委員会教育長）

＜講師プロフィール＞
・出身地：北海道安平町
・好きなもの：ものづくり，場づくり

公立中学校で9年間教員として勤務し、2004年に私立学校法人にて幼児教育の分野へ転身。以後、幼稚園長、こども園長、保育園長などを歴任。
2024年5月より安平町教育委員会教育長に就任。
官民・公私連携の視点から、0歳から15歳までの一貫した教育とまちづくりを推進している。全国的に注目される安平町立早来学園の開校に際しては、2018年北海道胆振東部地震直後の住民議論の段階から関わり、基本構想・基本設計に携わった。
北海道文教大学客員教授。